

2020年国勢調査第3次試験調査 実施状況等結果の概要（速報）

本資料は、令和2年国勢調査に向けた調査方法等の最終的な検証と地方公共団体における事務の習熟を図ることを目的に、令和元年6月13日を調査期日として実施した「2020年国勢調査第3次試験調査」の実施状況について、その速報結果を取りまとめたものである。

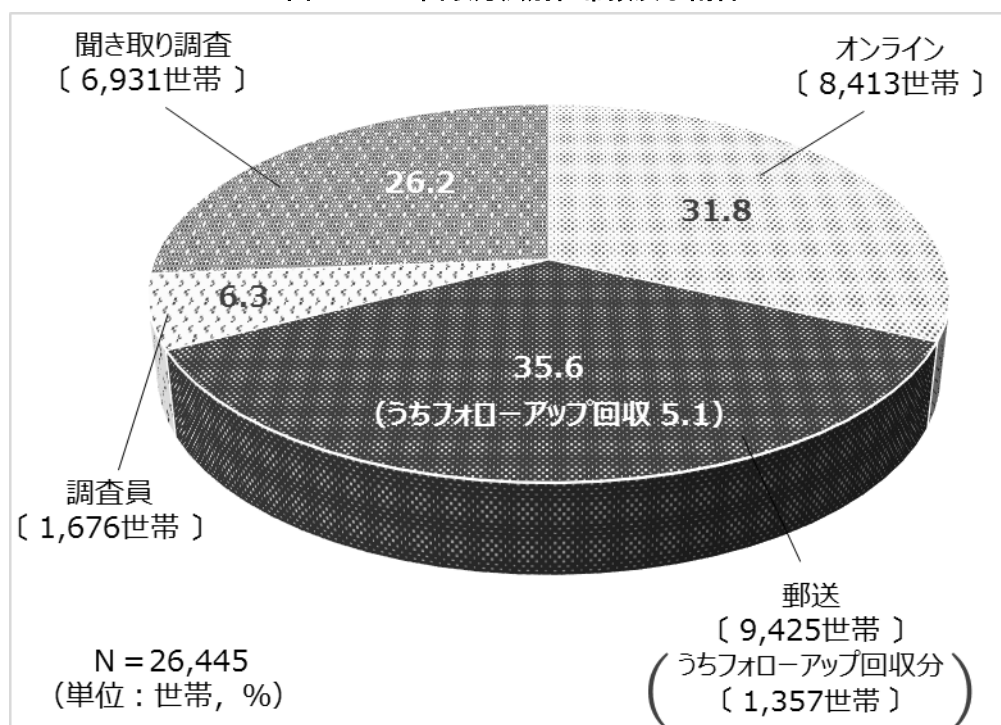
I 調査票の集計結果

第1 回収状況

1 全体の回収状況

調査対象世帯は、26,445世帯となっており、これを回収方法別にみると、オンライン回収は8,413世帯（調査対象世帯に占める割合31.8%）、当初回収分とフォローアップ回収分を合わせた郵送回収は9,425世帯（同35.6%）、調査員回収は1,676世帯（同6.3%）、聞き取り世帯は6,931世帯（同26.2%）となっている。

図 I - 1 回収方法別世帯数及び割合



2 調査区の地域特性別の回収状況

調査区の地域特性別に調査票の回収状況をみると、「オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域」を除いた3つの地域においては、郵送回収の割合が最も高くなっており、特に「一戸建の多い地域」では郵送回収が50%近くを占めている。

「オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域」では、聞き取り調査の割合が35.0%で最も高く、次いでオンライン回収が高くなっている。

表 I - 1 調査地域の特性、回収方法別世帯数及び割合

(世帯, %)

地域特性		回収方法					聞き取り調査 1)
		総数	回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	
(実数)	総数	26,445	19,514	8,413	9,425	1,676	6,931
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	8,010	5,205	2,540	2,308	357	2,805
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	8,148	5,816	2,619	2,721	476	2,332
	一戸建の多い地域	4,998	4,407	1,534	2,399	474	591
	その他の地域	5,289	4,086	1,720	1,997	369	1,203
(構成比)	総数	100.0	73.8	31.8	35.6	6.3	26.2
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	100.0	65.0	31.7	28.8	4.5	35.0
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	71.4	32.1	33.4	5.8	28.6
	一戸建の多い地域	100.0	88.2	30.7	48.0	9.5	11.8
	その他の地域	100.0	77.3	32.5	37.8	7.0	22.7

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

3 世帯人員別の回収状況

世帯人員別の回収率をみると、世帯から直接回答が得られた割合は、単身世帯を除き、いずれの世帯人員の世帯においても80%以上となっている。一方、単身世帯では、56.0%となっている。

表 I - 2 世帯人員、回収方法別世帯数及び割合

(世帯, %)

世帯人員規模		回収方法					聞き取り調査 1)
		総数	回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	
(実数)	総数	26,445	19,514	8,413	9,425	1,676	6,931
	単身世帯	12,561	7,034	3,025	3,298	711	5,527
	世帯人員2人	6,549	5,937	2,153	3,280	504	612
	世帯人員3人	3,734	3,354	1,543	1,588	223	380
	世帯人員4人	2,582	2,274	1,169	951	154	308
	世帯人員5人以上	1,019	915	523	308	84	104
(構成比)	総数	100.0	73.8	31.8	35.6	6.3	26.2
	単身世帯	100.0	56.0	24.1	26.3	5.7	44.0
	世帯人員2人	100.0	90.7	32.9	50.1	7.7	9.3
	世帯人員3人	100.0	89.8	41.3	42.5	6.0	10.2
	世帯人員4人	100.0	88.1	45.3	36.8	6.0	11.9
	世帯人員5人以上	100.0	89.8	51.3	30.2	8.2	10.2

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

4 世帯主の年齢階級別の回収状況

世帯主の年齢階級別に調査票の回収状況をみると、60歳未満の全ての年齢階級において、オンライン回答した世帯の割合が最も高くなっている。

また、20歳代～70歳代にかけては、世帯主の年齢層が上がるにつれ、聞き取り調査の割合が逡減していく傾向にある。

表 I - 3 世帯主の年齢階級、回収方法別世帯数及び割合

(世帯, %)

回収方法	(実数)						(構成比)					
	総数	回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	聞き取り 調査 1)	総数	回答世帯 合計	オンライン	郵送	調査員	聞き取り 調査 1)
世帯主の年齢階級												
総数	26,445	19,514	8,413	9,425	1,676	6,931	100.0	73.8	31.8	35.6	6.3	26.2
20歳未満	331	313	247	52	14	18	100.0	94.6	74.6	15.7	4.2	5.4
20歳代	2,012	1,592	1,142	364	86	420	100.0	79.1	56.8	18.1	4.3	20.9
30歳代	2,748	2,285	1,497	698	90	463	100.0	83.2	54.5	25.4	3.3	16.8
40歳代	3,699	3,204	1,915	1,131	158	495	100.0	86.6	51.8	30.6	4.3	13.4
50歳代	3,722	3,370	1,668	1,508	194	352	100.0	90.5	44.8	40.5	5.2	9.5
60歳代	3,554	3,351	1,069	2,008	274	203	100.0	94.3	30.1	56.5	7.7	5.7
70歳代	3,251	3,100	571	2,146	383	151	100.0	95.4	17.6	66.0	11.8	4.6
80歳以上	2,123	2,009	304	1,285	420	114	100.0	94.6	14.3	60.5	19.8	5.4
年齢「不詳」	5,005	290	-	233	57	4,715	100.0	5.8	-	4.7	1.1	94.2

1) 調査票を回収することができず、聞き取り調査を行った世帯を指す。

5 重複回答の状況

調査対象世帯のうち、複数の回答方法により重複して回答(※)したのは46世帯(調査対象世帯に占める割合0.2%)となっている。

※ オンライン回答したうえで、郵送回答を行った世帯などを1世帯として計上

表 I - 4 回収方法別重複回答世帯数及び割合

(世帯, %)

重複回答の有無 回収方法	総数	重複回答 なし	重複回答 あり 1)	重複回答の回収方法		
				郵送	調査員	以外 (オンライン)
実数 (世帯)	26,445	26,399	46	29	16	1
構成比 (%)	100.0	99.8	0.2	0.1	0.1	0.0

1) オンライン回収と郵送回収などの、複数の回答が得られた世帯。

なお、聞き取り調査を行った後に郵送回収等によって調査票が得られた世帯は含まない。

第2 オンライン調査による回答状況

1 オンライン回答システムへのアクセス状況

オンライン調査システムへログイン（アクセス）した世帯は、9,716世帯（総世帯数に占める割合36.7%）となっている。また、実際にオンライン回答をした世帯は8,413世帯（同31.8%）、ログインをしたが回答送信まで至らなかった世帯は1,303世帯（同4.9%）となっている。

なお、ログイン数に占める回答者の割合は86.6%となっている。

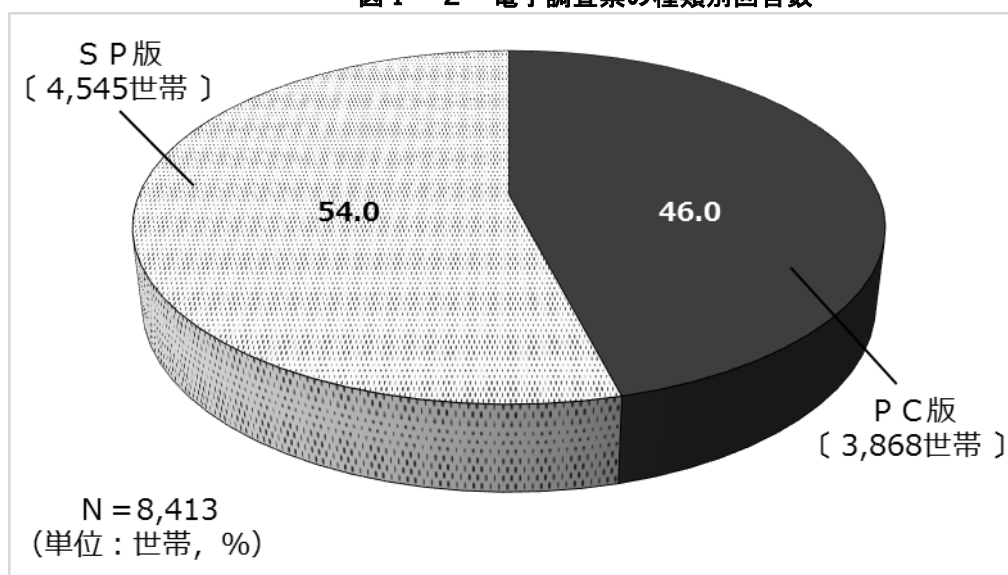
表 I-5 オンライン調査システムへのログイン・回答数及び割合

	(実数)	(構成比1)	(構成比2)
総世帯数	26,445	100.0	
ログインした世帯	9,716	36.7	100.0
回答した世帯	8,413	31.8	86.6
回答しなかった世帯	1,303	4.9	13.4

2 電子調査票の種類別の回答状況

電子調査票の種類別の回答状況をみると、PC版が3,868世帯（オンライン回答世帯に占める割合46.0%）、スマートフォン版（以下「SP版」という。）が4,545世帯（同54.0%）となっている。

図 I-2 電子調査票の種類別回答数

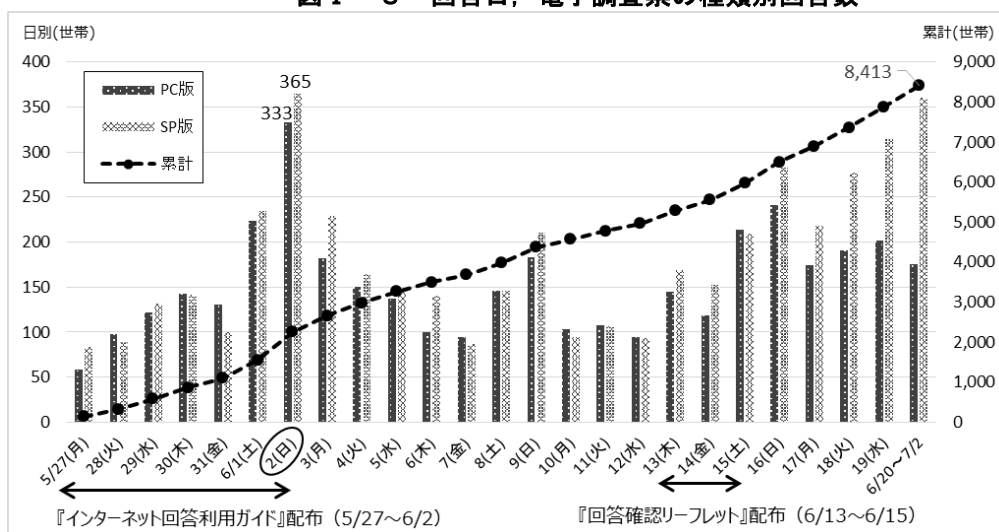


3 日別の回答状況

オンライン回答について日別にみると、調査書類の配布を開始した直後の日曜日（6月2日）にPC版とSP版ともにピークとなっており、それ以降は土日に回答が増加する点を除いて減少傾向にあったが、回答確認リーフレットの配布を開始する調査期日（6月13日）から回答期限（6月19日）にかけて、再び回答数が増加傾向となった。

また、回答延長期間（6月20日～7月2日）については、535世帯のオンライン回答（1日平均41.2世帯）があった。

図 I - 3 回答日、電子調査票の種類別回答数

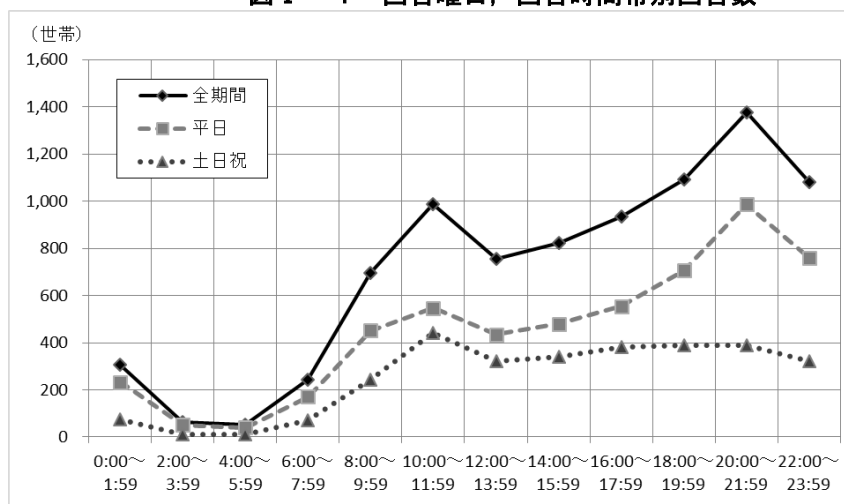


4 時間帯別の回答状況

オンライン回答について回答時間帯別にみると、早朝（6：00～7：59）から増加していた回答数は、昼前（10：00～11：59）を境に一旦減少している。午後になると、夜間に向けて徐々に回答数が増加し、20：00～21：59の時間帯でピークに達している。

また、平日及び土日祝別にみると、平日では回答数の推移幅が大きくなっているが、土日祝では比較的なだらかな推移となっている。

図 I - 4 回答曜日、回答時間帯別回答数



5 世帯主の年齢階級別の回答状況

オンライン回答について世帯主の年齢階級別にみると、「40歳代」が1,915世帯（P C版826世帯，S P版1,089世帯）で最も多く，次いで「50歳代」（1,668世帯（P C版948世帯，S P版720世帯）），「30歳代」（1,497世帯（P C版448世帯，S P版1,049世帯））となっている。

また，オンライン回答を電子調査票の種類別の割合でみると，40歳未満の全ての年齢階級において，S P版の割合が70%を超えており，若年層はスマートフォンによる回答が中心となっている。

表 I - 6 世帯主の年齢階級，電子調査票の種類別回答数及び割合

(世帯, %)

PC・SPの別 世帯主の年齢階級	(実数)			(構成比)		
	総数	P C版	S P版	総数	P C版	S P版
総数	8,413	3,868	4,545	100.0	46.0	54.0
20歳未満	247	37	210	100.0	15.0	85.0
20歳代	1,142	263	879	100.0	23.0	77.0
30歳代	1,497	448	1,049	100.0	29.9	70.1
40歳代	1,915	826	1,089	100.0	43.1	56.9
50歳代	1,668	948	720	100.0	56.8	43.2
60歳代	1,069	740	329	100.0	69.2	30.8
70歳代	571	407	164	100.0	71.3	28.7
80歳以上	304	199	105	100.0	65.5	34.5

6 回答内容の修正状況

オンライン回答は，調査期日より前に受け付けることが可能であり，回答内容に変更が生じた場合は，世帯が修正することとしている。調査対象となった26,445世帯のうち，回答内容の修正があった件数は122件となっており，修正した世帯が総世帯に占める割合は0.5%となっている。

第3 OCR調査票の記入状況

※ 本項における集計は、直接回答を得られた世帯のみを対象として行っており、聞き取り調査の世帯は集計対象に含めていない。

1 調査項目別の記入状況

(1) 回収方法別の記入状況

調査事項別に記入状況をみると、「教育（就学の有無）」において記入不備のある割合が8.6%と最も高く、次いで「教育（最終学歴）」が同割合8.2%、「本人の仕事の内容」が同割合7.2%と続いており、教育項目及び仕事に関するフリー記入欄の記入不備率が高い傾向にある。

また、調査員回収には、回答の締切り日までにオンライン回答や郵送回答がされなかった世帯に、督促を行って回収したものも含まれることから、記入状況が全体的にやや悪くなっている。

表 I - 7 調査項目、回収方法別記入内容に不備のある世帯及び世帯員の割合

(%)

調査事項	回収方法 記入不備の内容	合計			郵送回収			調査員回収		
		エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入	エラー あり	記入 漏れ	マルチ 記入
第1面	世帯人員	0.9	-	-	0.8	-	-	1.6	-	-
	住居の種類	1.4	1.1	0.2	1.3	1.1	0.2	2.1	1.8	0.3
	男女の別	0.4	0.4	0.0	0.3	0.3	0.0	0.9	0.8	0.1
	世帯主との続柄	0.8	0.6	0.2	0.7	0.5	0.2	1.2	0.8	0.4
	出生の年月（元号・西暦・年月日が規定値か）	1.8	0.0	-	1.6	0.0	-	2.8	0.0	-
	配偶者の有無	3.4	3.4	0.0	3.1	3.1	0.0	6.3	6.2	0.1
	国籍	1.1	1.1	0.0	0.8	0.8	0.0	2.9	2.8	0.1
	外国の場合の国名 1)	3.6	3.6	-	3.2	3.2	-	3.8	3.8	-
	現在の住居における居住期間	1.7	1.5	0.2	1.3	1.1	0.2	3.9	3.6	0.3
	5年前の住居の所在地 他の区・市町村の場合の区・市町村名 1)	3.4	3.3	0.1	1.5	1.4	0.0	2.6	2.5	0.1
第2面	教育（就学の有無）	8.6	8.5	0.1	9.0	9.0	0.1	11.4	11.4	0.0
	教育（最終学歴）	8.2	8.0	0.3	8.5	8.2	0.3	11.2	11.0	0.3
	就業状態	3.6	3.0	0.6	3.4	2.8	0.6	5.7	4.8	1.0
	従業地又は通学地 他の区・市町村の場合の区・市町村名 1)	4.2	4.0	0.2	4.2	3.9	0.2	5.7	5.4	0.3
	利用交通手段	2.5	2.5	-	1.9	1.9	-	3.2	3.2	-
	従業上の地位	3.7	0.9	2.8	3.6	1.0	2.7	4.3	0.9	3.4
	勤め先・業主などの名称 1)	4.1	3.7	0.4	4.1	3.6	0.4	5.4	4.9	0.5
	事業の内容 1)	6.4	6.4	-	6.2	6.2	-	10.7	10.7	-
	本人の仕事の内容 1)	7.0	7.0	-	6.9	6.9	-	11.3	11.3	-
記入欄	7.2	7.2	-	7.1	7.1	-	11.8	11.8	-	
調査員欄	世帯の種類	0.7	0.6	0.0	0.7	0.7	0.0	0.4	0.4	-
	住宅の建て方	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	0.5	-
	共同住宅の場合の階数	0.2	0.2	-	0.2	0.2	-	0.2	0.2	-

1) フリー記入欄における記入の有無

(2) 最終卒業学校の記入状況（「教育」の記入状況）

「教育」について、「卒業」を選択した者のうち、学校区分別の人数をみると、中学校を卒業していない人（小学校だけを卒業した人）は198人（卒業した人全体に占める割合0.6%）となっている。

また、中学校を卒業していない人を年齢階級別にみると、80歳以上の世帯員は177人（80歳以上の人に占める割合6.1%）となっており、他の年齢階級と比較して突出して多い。

表 I - 8 年齢階級，学校区分別卒業人員数及び割合

(人, %)

卒業した学校区分		総数	小学	中学	高校・旧中	短大・高専	大学	大学院	学校区分 「不詳」
年齢階級（5歳階級）									
（実数）	総数	32,780	198	2,645	13,196	5,733	9,379	1,128	501
	20歳未満	179	1	28	148	1	-	-	1
	20～29歳	2,861	4	85	859	582	1,217	89	25
	30～39歳	4,919	1	156	1,342	1,008	2,019	337	56
	40～49歳	6,059	-	212	2,024	1,492	1,921	319	91
	50～59歳	5,732	1	181	2,311	1,245	1,695	217	82
	60～69歳	5,415	1	371	2,561	860	1,436	107	79
	70～79歳	4,484	11	836	2,379	374	754	43	87
	80歳以上 年齢「不詳」	2,904 227	177 2	753 23	1,455 117	140 31	303 34	16 -	60 20
（構成比）	総数	100.0	0.6	8.1	40.3	17.5	28.6	3.4	1.5
	20歳未満	100.0	0.6	15.6	82.7	0.6	-	-	0.6
	20～29歳	100.0	0.1	3.0	30.0	20.3	42.5	3.1	0.9
	30～39歳	100.0	0.0	3.2	27.3	20.5	41.0	6.9	1.1
	40～49歳	100.0	-	3.5	33.4	24.6	31.7	5.3	1.5
	50～59歳	100.0	0.0	3.2	40.3	21.7	29.6	3.8	1.4
	60～69歳	100.0	0.0	6.9	47.3	15.9	26.5	2.0	1.5
	70～79歳	100.0	0.2	18.6	53.1	8.3	16.8	1.0	1.9
	80歳以上 年齢「不詳」	100.0 100.0	6.1 0.9	25.9 10.1	50.1 51.5	4.8 13.7	10.4 15.0	0.6 -	2.1 8.8

2 記入状況についての評価

- 調査員記入欄については、他の調査事項と比較して記入状況が特に悪くなっているわけではないが、引き続き適切な記入を指導していく。
- 「教育」の学校区分については、記入者の紛れがないよう、『調査票の記入のしかた』やホームページ等においてわかりやすく説明するよう努めたい。

II 民間事業者による実査事務サポートの実施状況

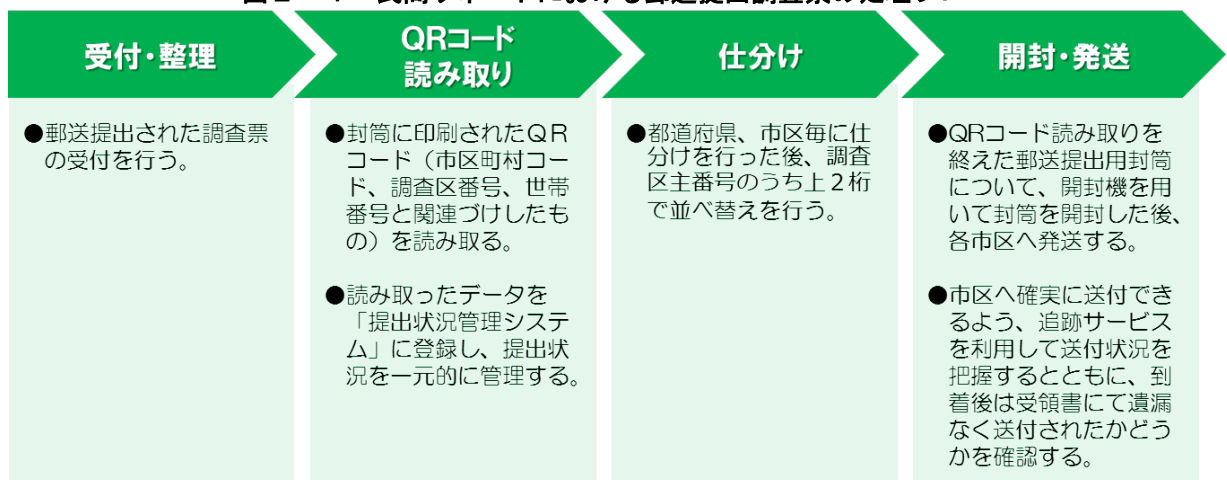
第1 郵送提出された調査票に係る受付・整理及び提出状況の把握

1 業務の概要

(1) 業務内容 郵送提出された調査票について、調査票の入った『郵送提出用封筒』に印字されているQRコードを読み取り、その情報を「提出状況管理システム」に登録する。次に、都道府県、市区毎に仕分け、調査区主番号の上二桁を一連番号として並べ替えた後、封筒の開封を行った上で梱包し、各市区へ発送する。

なお、『郵送提出用封筒』にQRコードが印字されていない場合は、封筒のキー項目、差出人欄や調査票の調査員記入欄などから市区の特定を行う。

図Ⅱ-1 民間サポートにおける郵送提出調査票の処理フロー



(2) 実施期間 令和元年6月6日（木）～7月18日（木）

(3) 実施体制 総括責任者1名、業務設計管理者10名、運用管理者4名、作業担当者10名（東京拠点5名、大阪拠点5名）

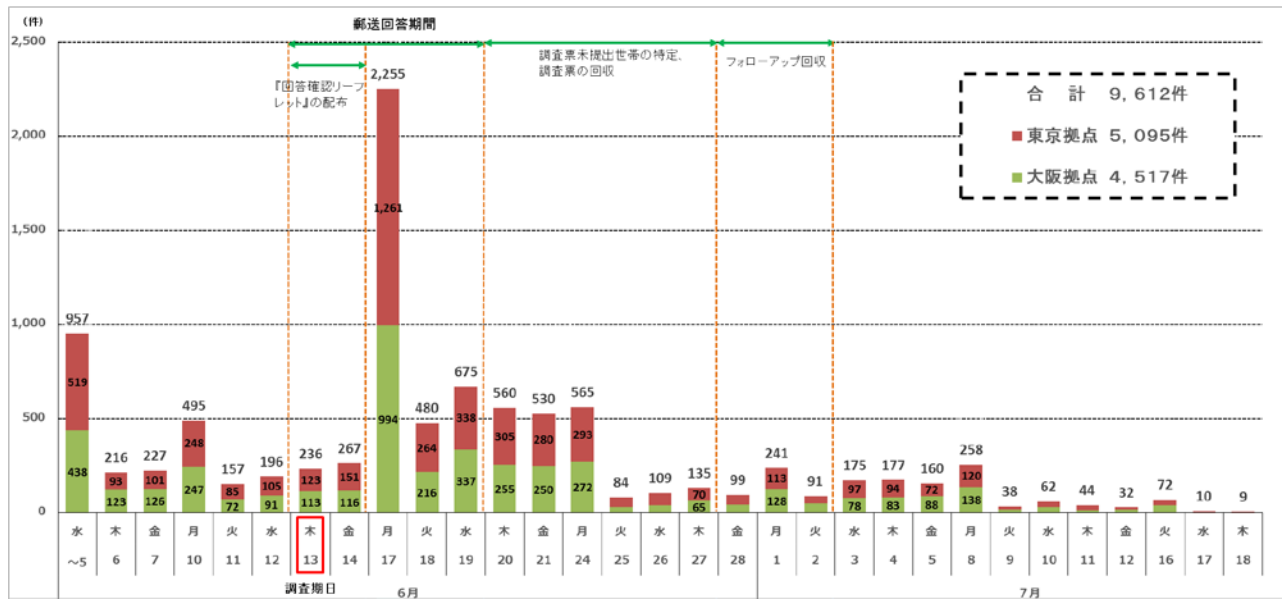
(4) 登録・発送期間 第3次試験調査では、郵送提出された調査票は当日中に「提出状況管理システム」へ登録、市区への発送は原則週1回行う

2 受付整理及びQRコード読み取りに係る処理状況

(1) 日別受取件数及び処理件数

○ 民間サポートにおける『郵送提出用封筒』受取件数は9,612件となっており、東京拠点で5,095件、大阪拠点で4,517件となっている。これを日別にみると、6月17日（月）が2,255件と最も多くなっている。6月25日（火）以降、件数が大きく減少しており、郵送提出期間内に提出されたものが一段落しているものと考えられる。7月1日（月）～8日（月）に微増しており、これはフォローアップ回収のための『督促状』の配布によるものと考えられる。

図Ⅱ-2 民間サポートにおける郵送提出用封筒の日別受付件数

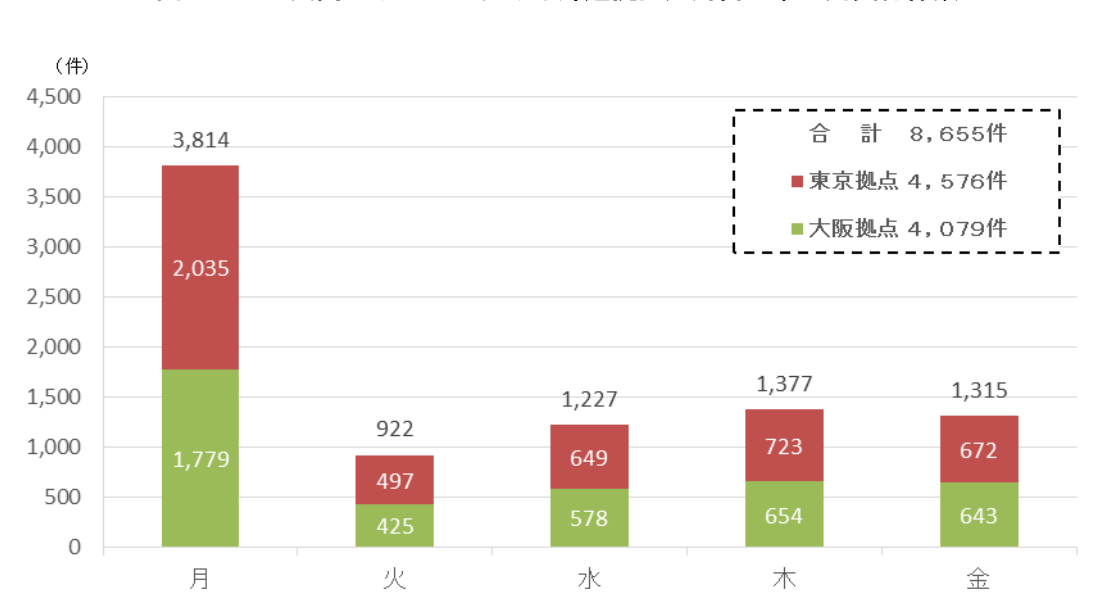


※民間サポートで受付した調査票は全て、当日中に仕分け業務まで完了している。

(2) 曜日別受付件数

受付件数を曜日別にみると、月曜日が3,814件と最も多く、他の曜日と比べると突出している。これは、世帯によって週末の土曜・日曜に記入された調査票が投函されているものと推測される。

図Ⅱ-3 民間サポートにおける郵送提出用封筒の曜日別受付件数



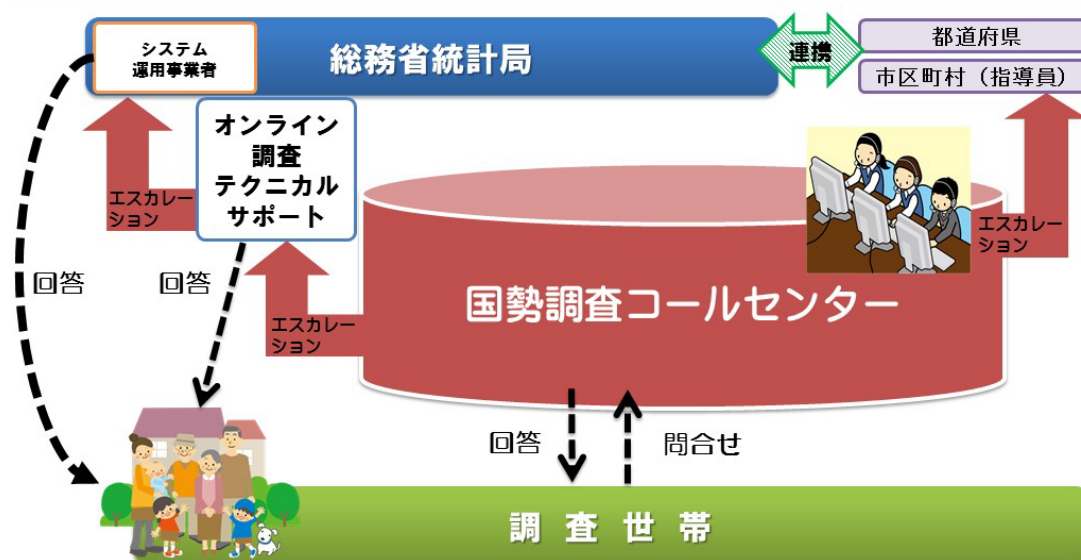
※ 民間サポート業務開始（6月6日）より前に郵送提出された調査票については、提出された曜日が不明なことから件数に含めていない。よって、図Ⅱ-2と合計件数は一致しない。

第2 コールセンターにおける世帯からの照会対応

1 業務の概要

- (1) 業務内容 第3次試験調査に関する世帯からの問合せ等の電話対応
- (2) 実施期間 令和元年5月20日(月)～7月7日(日)
(運営時間 ⇒ 8:30～21:00)
- (3) 実施体制 (図Ⅱ-4参照)
統括責任者1名、副業務責任者(拠点責任者)1名、
グループ責任者(SV)1名、オペレーター4名(最大)

図Ⅱ-4 令和2年国勢調査第3次試験調査コールセンター実施体制図



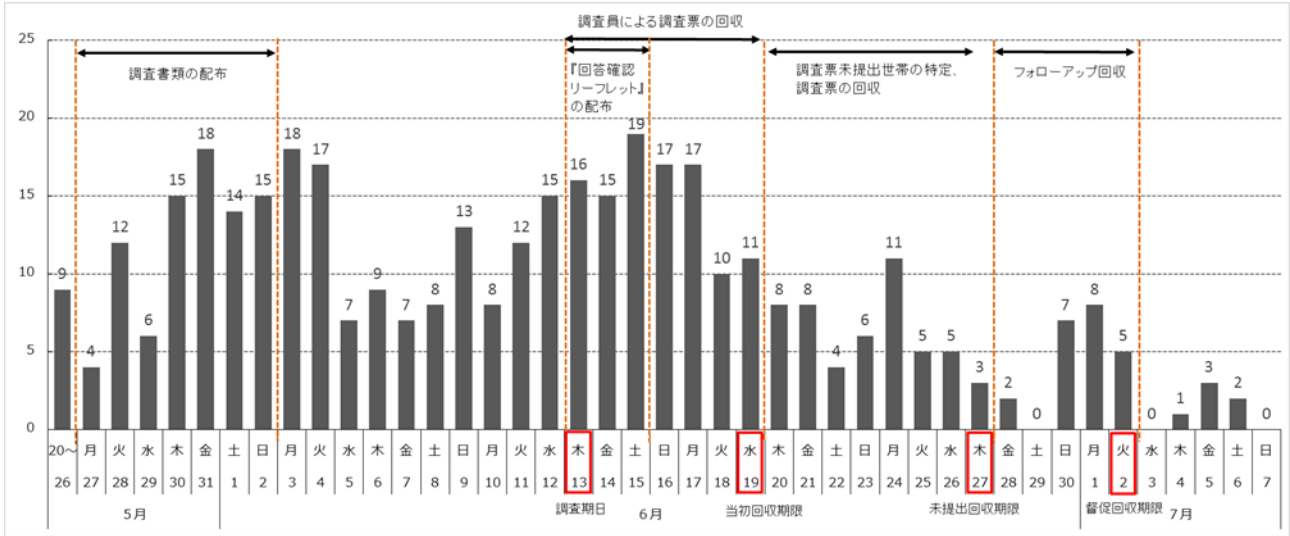
- 国勢調査コールセンターにおいては、調査世帯からの電話による照会を一元的に受け付け、総務省統計局が提供するFAQ等の資料に基づき対応を行う。
- 照会の内容によっては、市区町村へのエスカレーション(引継ぎ)を行うほか、オンライン調査に係る技術的な内容に関しては、総務省統計局が設置する「オンライン調査テクニカルサポート」へのエスカレーション(引継ぎ)を行う。

2 コールセンターの対応状況

(1) 日別着信件数

- コールセンター設置期間中の総着信件数は390件であった。
- 応答数については、384件となっており、応答率は98.5%であった。
- 着信数を日別にみると、5月30日(木)～6月4日(火)の調査書類の配布期間の後半に着信が多く見られ、6月15日(土)の『回答確認リーフレット』の配布期間にピークを迎えている。

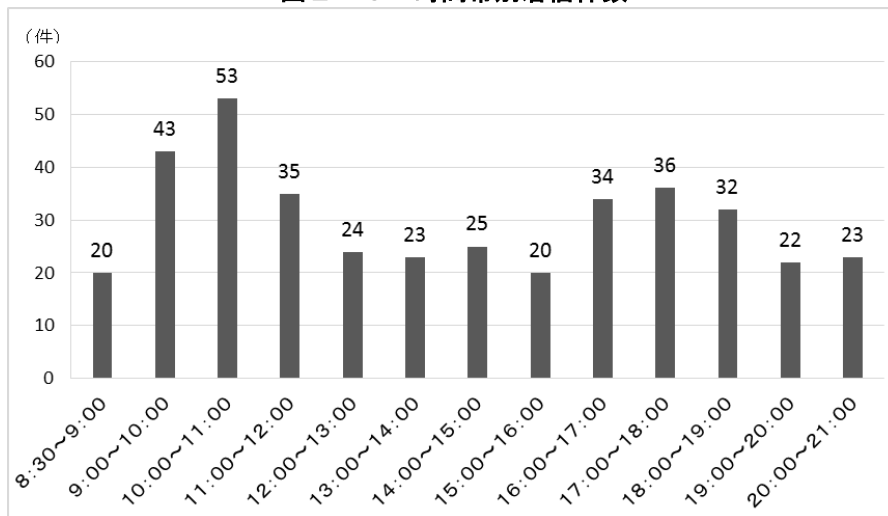
図Ⅱ－５ 日別着信件数



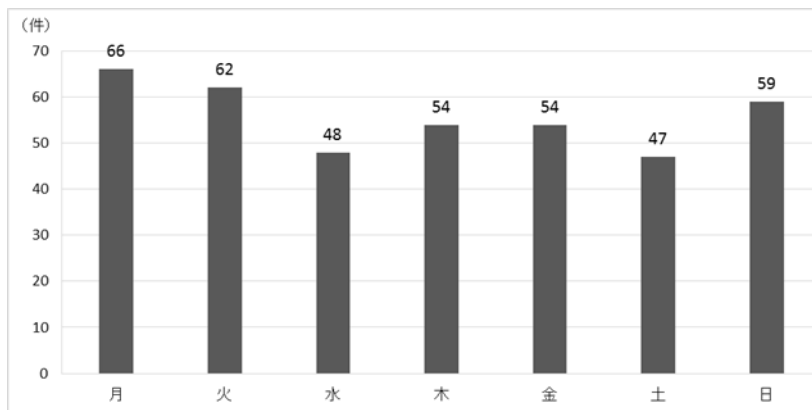
(2) 時間帯別及び曜日別着信件数

着信数を時間帯別にみると、一日のうち9～11時台の午前中に着信が多く見られる。また、着信数を曜日別にみると、月曜日に着信が最も多く、土曜日の着信が最も少なくなっている。

図Ⅱ－６ 時間帯別着信件数



図Ⅱ－７ 曜日別着信件数（世帯専用回線）



(3) 主な照会内容と平均通話時間

- 照会の内容についてその割合をみると、インターネット回答についての問い合わせからなる「調査の方法（インターネット回答）」が21.9%と最も高く、次いで「調査票の記入のしかた」に関する問い合わせが18.2%となっている。
- 平均通話時間についてみると、2分45秒であった。

表Ⅱ－１ 主な照会内容及び件数・割合

入電内容	件数	割合
調査の方法(インターネット回答)	84	21.9%
調査票の記入のしかた	70	18.2%
調査の対象	58	15.1%
調査書類・用品に関する事項	52	13.5%
国勢調査の基本	47	12.2%
調査の方法(全般)	14	3.6%
回答の義務	8	2.1%
調査員の身分	6	1.6%
その他	45	11.7%
合計	384	100.0%

第3 テクニカルサポートにおける照会対応

1 業務の概要

- (1) 業務内容 オンライン調査システム（提出状況管理システムを含む）の技術的な内容の問合せへの電話による対応（原則コールセンターからのエスカレーションにより対応）
- (2) 実施期間 令和元年5月27日（月）～7月2日（日）
- (3) 実施体制 統括責任者1名、副業務責任者（拠点責任者）1名、グループ責任者（SV）1名、オペレーター1名

2 オンライン調査に係る市区及び世帯からの照会対応の処理状況

- テクニカルサポートにおけるオンライン調査に係る照会への対応状況についてみると10件であった。全ての案件について、「システム運用事業者」へ折り返し対応を依頼していた。

表Ⅱ－２ テクニカルサポートにおける処理件数（複数回答含む）

	エラーメッセージ 関係	ログイン 関係	回答送信画面 関係	その他	合計
件数	4	2	3	1	10

Ⅲ 調査員記録表及び調査状況等記録表の集計結果

第1 調査員記録表

1 調査書類の配布（5月27日～6月2日）

(1) 世帯との面会状況

調査書類配布時に会えた世帯は11,475世帯（調査対象世帯に占める割合43.4%）、調査票の回収を約束した世帯は2,022世帯（同7.6%）となっている。

会えた世帯の割合を調査区の地域特性別にみると、「オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域」が36.6%と最も低くなっている。

表Ⅲ－1 調査地域の特性別会えた世帯数及び割合

地域特性		調査対象世帯	調査票の回収を約束した		左記以外
			会えた	調査票の回収を約束した	
（実数）	総数	26,445	11,475	2,022	14,970
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	8,010	2,928	591	5,082
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	8,148	3,276	649	4,872
	一戸建の多い地域	4,998	3,023	476	1,975
	その他の地域	5,289	2,248	306	3,041
（構成比）	総数	100.0	43.4	7.6	56.6
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	100.0	36.6	7.4	63.4
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	40.2	8.0	59.8
	一戸建の多い地域	100.0	60.5	9.5	39.5
	その他の地域	100.0	42.5	5.8	57.5

(2) 調査期日（6月13日）前の回収希望状況

調査書類配布時に調査票の回収を約束した世帯のうち、調査期日前に回収を希望した世帯は227世帯（調査票の回収を約束した世帯に占める割合11.2%）、回収できた世帯は220世帯（同10.9%）となっている。

表Ⅲ－2 調査地域の特性別調査票の回収を約束した世帯のうち、調査期日前に回収を希望した世帯数及び割合

地域特性		調査票の回収を約束した世帯	調査期日前に回収を希望した		左記以外
			調査期日前に回収を希望した	回収できた	
（実数）	総数	2,022	227	220	1,795
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	591	74	73	517
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	649	44	40	605
	一戸建の多い地域	476	58	58	418
	その他の地域	306	51	49	255
（構成比）	総数	100.0	11.2	10.9	88.8
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	100.0	12.5	12.4	87.5
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	6.8	6.2	93.2
	一戸建の多い地域	100.0	12.2	12.2	87.8
	その他の地域	100.0	16.7	16.0	83.3

2 『回答確認リーフレット』の配布及び調査票の回収（6月13日～19日）

6月13日～19日に会えた世帯は1,049世帯（調査票の回収を約束した世帯（調査期日前に回収を希望した世帯を除く。）に占める割合58.4%）、回収できた世帯は581世帯（同32.4%）となっている。

会えた世帯の割合を調査区の地域特性別にみると、「オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域」が38.9%と最も低くなっている。

表Ⅲ－3 調査地域の特性別調査票の回収を約束した世帯のうち、
会えた世帯数及び割合

(世帯, %)

地域特性		調査票の回収を 約束した世帯	回収		左記以外
			会えた	回収できた	
(実数)	総数	1,795	1,049	581	746
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	517	201	100	316
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	605	392	175	213
	一戸建の多い地域	418	249	183	169
	その他の地域	255	207	123	48
(構成比)	総数	100.0	58.4	32.4	41.6
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	100.0	38.9	19.3	61.1
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	64.8	28.9	35.2
	一戸建の多い地域	100.0	59.6	43.8	40.4
	その他の地域	100.0	81.2	48.2	18.8

3 調査票の未提出世帯の特定、調査票の回収（6月20日～27日）

6月20日～27日に会えた世帯は1,624世帯（未提出世帯に占める割合13.9%）、回収できた世帯は398世帯（同3.4%）となっている。

会えた世帯の割合を調査区の地域特性別にみると、「オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域」が8.8%と最も低くなっている。

表Ⅲ－4 調査地域の特性別会えた世帯数及び割合

(世帯, %)

地域特性		未提出世帯	回収		左記以外
			会えた	回収できた	
(実数)	総数	11,682	1,624	398	10,058
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	4,062	356	106	3,706
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	3,785	506	97	3,279
	一戸建の多い地域	1,578	332	91	1,246
	その他の地域	2,257	430	104	1,827
(構成比)	総数	100.0	13.9	3.4	86.1
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	100.0	8.8	2.6	91.2
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	13.4	2.6	86.6
	一戸建の多い地域	100.0	21.0	5.8	79.0
	その他の地域	100.0	19.1	4.6	80.9

4 調査票の未提出世帯からの回収（6月28日～7月2日）

6月28日～7月2日に会えた世帯は704世帯（未提出世帯に占める割合7.9%）、回収できた世帯は175世帯（同2.0%）となっている。

会えた世帯の割合を調査区の地域特性別にみると、「オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域」が5.7%と最も低くなっている。

表Ⅲ－5 調査地域の特性別会えた世帯数及び割合

地域特性		未提出世帯	会えた		左記以外
			回収できた		
（実数）	総数	8,940	704	175	8,236
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	3,343	191	52	3,152
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,974	185	40	2,789
	一戸建の多い地域	962	146	46	816
	その他の地域	1,661	182	37	1,479
（構成比）	総数	100.0	7.9	2.0	92.1
	オートロックマンションなど民営の賃貸住宅が多い地域	100.0	5.7	1.6	94.3
	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	6.2	1.3	93.8
	一戸建の多い地域	100.0	15.2	4.8	84.8
	その他の地域	100.0	11.0	2.2	89.0

第2 調査状況等記録表

1 配布誤りの発生状況とその内容

調査書類の配布誤りの発生状況をみると、発生しなかった市区は35市区（全市区に占める割合67.3%）、発生した市区は17市区（同32.7%）だった。

表Ⅲ－6 配布誤り発生の有無別市区数及び割合

	総数	配布誤りが発生した	
		配布誤りが発生しなかった	配布誤りが発生した
実数（市区）	52	35	17
構成比（%）	100.0	67.3	32.7

また、配布誤りした世帯は307世帯（調査対象世帯に占める割合1.2%）となっている。配布誤りの内容別にみると、調査書類の入れ間違いが258世帯（配布誤りした世帯に占める割合84.0%）と最も多くなっている。

表Ⅲ－7 配布誤りの内容別世帯数及び割合

	総数	配布誤りが発生			
		調査書類の入れ間違い	配布先誤り	その他 ¹⁾	
実数（世帯）	26,445	307	258	48	1
構成比（%）	—	100.0	84.0	15.6	0.3

1) オンライン回答済と伝達していた世帯に、督促用の書類を配布した。

2 配布誤りの理由

(調査書類の入れ間違い)

- 『郵送提出用封筒』の世帯番号が1つずれてしまい、それ以降の世帯番号がずれてしまった。
- 世帯番号があらかじめ印刷されていることを調査員が失念していた。

など

(配布先誤り)

- 共同住宅などで、配布すべき号室と配布してはいけない号室の郵便受けが近い位置で配布誤りをしてしまった。
- 似たマンション名や部屋数のアパートが複数隣接しており、配布する棟を間違えた。
- 同一アパートの2部屋において配布先を逆にした。
- 他調査区域の同じ部屋番号のマンション世帯に配布した。

など